

## 情報公開文書

### 【研究の名称】 献体を用いた肝胆膵手術手技研修

「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」にしたがい京都大学医学部附属病院肝胆膵・移植外科で行っている臨床研究の情報を公開しています。下記の研究は、京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院医の倫理委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を受けて実施し、研究責任者の管轄のもとに行われます。献体を用いた肝胆膵手術手技研修であるため患者さんにご負担をおかけするわけではありません。また、研究結果は学会や学術雑誌に発表されることがありますがプライバシーは十分に尊重され、個人情報(お名前など)が外部に公表されることはありません。もし下記の研究にご自身の臨床情報を使用されることに同意されない方は、下記メールアドレスもしくは電話番号にご連絡いただければ対象から除外させていただきます。また、下記研究に関して詳しい説明を希望される場合下記メールアドレスにお問合せいただくか担当医にお尋ねください。希望があれば研究の実施に支障の無い範囲で計画書等を閲覧することもできます。

【研究実施期間】研究機関の長の実施許可日より2030年3月31日までとします。

【対象となる献体数】40から50体のご献体を使用させていただき予定です。

【目的】本研究は臨床解剖学的知識の向上および手術向上のため解剖を行います。肝胆膵・移植外科においては、医師、大学院生、研究生、および医師以外の医療従事者(看護師など)の肝胆膵外科手術の手技向上に関する教育に資することを目的とします。

【協力内容】「医師(歯科医師を含む)の教育・研究に関する同意書」に署名いただいた京大白菊会会員で、ご遺族からも承諾を書面で得られた献体を使用させていただきます。なお「臨床医学の教育及び研究における死体解剖のガイドライン」にて定められている通り、同意書の取得、献体の受付、管理は本学の医学研究科形態形成機構学講座(解剖学教室)にて行われます。

### 【試料・情報の利用目的・利用方法】

- 1) ご遺体は形態形成機構学講座に搬入後、同講座の指導で十分な知識と経験を有する医学部総合解剖センターの専門の技術職員の手によってご献体番号を与えられ、CAL運営組織・CAL利用者には個人情報は一切伝わりません。
- 2) 一覧表は形態形成機構学教室内の施錠可能な部屋で保管されます。コンピュータで保管する情報はID番号で管理し、個人が特定できないようにします。
- 3) 研究に関わる関係者は、個人情報の保護について、適用される法令、条例等を遵守します。
- 4) 本教育の成果の発表に、得られた解剖学的情報や写真・動画・CT画像を用いる場合、ID化とともに個人を特定できる部位(顔およびその他の身体的な特徴)を加工し、最大限の個人情報保護に注意を払います。
- 5) ご献体のご遺族から同意撤回の申し出があった場合、本臨床解剖のために得られた情報はすべて再現不可能な形で廃棄し、臨床解剖には用いません。

【研究責任者】京都大学 肝胆膵・移植外科 波多野悦朗

【情報管理責任者】京都大学 肝胆膵・移植外科 小木曾聡

【研究協力機関】

- ・ Integra Japan 株式会社
- ・ オリンパス株式会社
- ・ 日本ストライカー株式会社
- ・ 日本メドトロニック株式会社
- ・ ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社
- ・ リバーフィールド株式会社

【研究資金・利益相反】この研究は、研究運営費により実施し、企業との資金提供はありません。利益相反については、「京都大学利益相反ポリシー」「京都大学利益相反マネジメント規程」に従い、「京都大学臨床研究利益相反審査委員会」において適切に審査しています。

【当科の研究に関する問合せ先】

・ 京都大学医学部附属病院 肝胆膵・移植外科 小木曾聡

〒606-8507 京都市左京区聖護院川原町 54

rutosa@kuhp.kyoto-u.ac.jp TEL: 075-751-3608

・ 京都大学医学研究科 総務企画課 研究推進掛

060kensui@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp TEL: 075-753-9301